学校番号	３１８

令和８年度　情報科

教科	情報	科目	（学）情報演習	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書							
副教材等	実践攻略　情報Ⅰ　大学入学共通テスト問題集（実教出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

本科目は、大学入学共通テスト「情報Ⅰ」において、高得点を目指す生徒を対象とした実戦的な演習科目です。単なる暗記ではなく、「なぜその答えになるのか」という論理的プロセスを大切にしてください。共通テストでは、未知の課題に対して既習の知識を組み合わせて解決する力が問われます。

学習方法としては、問題集を軸に、知識の再確認と問題演習を繰り返します。特に、プログラミングやデータの活用分野では、実際に手を動かし、試行錯誤する過程を重視してください。授業での演習だけでなく、模試や過去問の結果を分析し、自身の弱点を客観的に把握して補強する「自律的な学習」を期待します。

2　学習の到達目標

(a) 大学入学共通テスト「情報Ⅰ」の出題範囲における知識を完全に定着させる。
(b) 複雑な問題設定から必要な情報を抽出し、プログラミングや数理モデルを用いて論理的に解決する力を養う。
(c) 統計的な手法や情報技術の特性を理解し、適切に情報を評価・改善する実践的能力を身につける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	・情報技術、ネットワーク、情報セキュリティ、データの分析手法等に関する概念を正しく理解し、問題解決のための技能を習得しているか。	・モデル化やシミュレーション、プログラミング等の手法を用い、論理的な思考に基づいて最適な解決策を導き出し、その過程を適切に表現できるか。	・自身の理解状況を客観的に把握し、粘り強く問題演習に取り組んでいるか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	情報社会の問題解決とデジタ	・情報デザインとメディアの特性 ・知的財産権、情報セキュリティ、法規演習 ・数値(2 進法等)、文字、画像、音のデジタル化計算 ・論理回路とコンピュータの構成要素	a: セキュリティ、法規、デジタル化の計算原理を正しく習得している。 b: 適切なメディアの選択や情報の真偽を論理的に判断できる。 c: 毎時の模擬問題演習に集中して取り組み、自己採点・復習を行っている。	小テスト 定期考査	小テスト 定期考査 演習の取り組み	問題集 プリント 演習の取り組み
	ネットワークと情報の構造化	・通信プロトコル、IP アドレス、LAN と WAN ・Web サーバーの仕組み、情報システムの構成 ・HTML/CSS の基礎、情報の階層構造 ・1 学期内容の総合演習(共通テスト形式)	a: ネットワーク層の仕組みや情報の構造化手法を理解している。 b: ネットワークのトラブル事例や構成図を読み取り、論理的に分析できる。 c: 1 学期末考査に向け、これまでの学習内容の弱点を特定し、補強に取り組んでいる。			
2学期	Python によるアルゴリズムと受験対策	・Python の基本文法と共通テスト用プログラム表記(DNCL)の対比 ・制御構造、配列(リスト)、関数の定義と活用 ・主要アルゴリズム(ソート、探索、再帰)の実装 ・複雑なコードのトレース演習	a: Python の構文を理解し、アルゴリズムの仕組みを技能として習得している。 b: プログラムの実行結果を論理的に予測し、効率的なコードの書き方を判断できる。 c: エラー(バグ)に対して論理的に原因を推測し、解決しようと試行錯誤している。	定期考査 小テスト 課題	定期考査 小テスト 課題	課題 レポート
	データの活用と統計プログラム演習	・Python を用いた統計分析(平均、分散、相関係数の算出) ・外部ライブラリ等を用いたデータの可視化(ヒストグラム、散布図) ・回帰直線と予測の仕組み ・共通テスト形式のデータ分析問題の解法研究	a: 統計指標の意味と Python によるデータ操作手法を習得している。 b: 提示されたデータから傾向を分析し、統計的に妥当な解釈を導き出せる。 c: Python 演習を通して、理論としての統計と実際の結果を関連付けて理解しようとしている。			

3学期	総合実戦演習	・本試験形式の予想問題・過去問演習 ・時間配分を意識したトレーニング ・全範囲の最終確認と頻出項目の徹底復習	a: 全範囲の知識を統合し、実戦的な問題に適用できる。 b: 初見の資料や問題設定を素早く分析し、論理的な判断を下せる。 c: 最終的な自己分析に基づき、主体的に最後の弱点克服に取り組んでいる。	定期考査	定期考査	課題 レポート

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度